

私は中学校で3週間の教育実習を行いました。主に理科の授業を担当し、生徒たちに科学の楽しさを伝えることに努めました。授業では、実験や観察を取り入れ、興味を引きながら学習意欲を高める工夫をしました。また、バレーボール部の顧問として、練習や試合の指導を行い、生徒たちと深い信頼関係を築くことができました。生徒たちは熱心に練習に取り組み、試合でもチームワークを発揮していました。

担当したクラスはとても仲の良いクラスで、時には騒がしい面もありましたが、メリハリをつけて学習と遊びを両立させることができる素晴らしいクラスでした。彼らは協力し合い、クラス全体が一体感を持って活動している姿が印象的でした。毎日、子供たちを観察し、一人一人の特徴を把握することで、彼らと親しくなることができました。授業だけでなく、休み時間や部活動の場面でも積極的にコミュニケーションを図り、彼らの興味や関心について理解を深めました。特に印象に残ったのは、生徒たちが自主的に勉強や部活動について話してくれたことです。彼らは自分の考えや悩みを素直に話し、私に対して信頼を寄せてくれました。私自身も、生徒たちの成長を見守りながら、どのように支援すればよいのかを考える良い機会となりました。

この教育実習を通じて、生徒との関わり方や指導方法について多くのことを学びました。特に、生徒一人一人に寄り添い、彼らの個性や能力を尊重することの大切さを実感しました。今後の教育活動においても、この経験を活かし、より良い指導者を目指して努力していきたいと思います。中学校での教育実習は、私にとって非常に有意義な時間であり、生徒たちとの関わりを通じて多くの学びを得ることができました。この経験を大切に、今後の教育活動に活かしていきたいと思います。